

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【公表番号】特表2010-537991(P2010-537991A)

【公表日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-523007(P2010-523007)

【国際特許分類】

C 07 C 51/50 (2006.01)

C 07 C 57/075 (2006.01)

C 07 C 67/62 (2006.01)

C 07 C 69/54 (2006.01)

【F I】

C 07 C 51/50

C 07 C 57/075

C 07 C 67/62

C 07 C 69/54 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月29日(2011.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

酸素の存在下でのモノエチレン系不飽和カルボン酸、そのエステル又は中和塩若しくは部分中和塩の水溶液のビニル重合を抑制する方法であって、該水溶液と、(i)少なくとも50ppmのN-オキシル化合物及び(ii)マンガンイオンを含む抑制剤とを混合する工程を含み、該N-オキシル化合物及びマンガンイオンは、該モノエチレン系不飽和カルボン酸、その無水物、エステル又は塩を基にして50:1から100:1未満のN-オキシル化合物対マンガンイオン重量比で存在する、前記方法。

【請求項2】

前記モノエチレン系不飽和カルボン酸、そのエステル又は中和塩若しくは部分中和塩が(メタ)アクリル酸又は(メタ)アクリル酸エステルである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記N-オキシル化合物が4-ヒドロキシTEMPOである、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記マンガンイオンが+2の原子価を有する、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

酸素の存在下でモノエチレン系不飽和カルボン酸、そのエステル又は中和塩若しくは部分中和塩の水溶液を重合に対して安定化させるための抑制剤であって、N-オキシル化合物及びマンガンイオンを50:1~100:1未満の重量比で含む抑制剤。

【請求項6】

前記モノエチレン系不飽和カルボン酸、そのエステル又は中和塩若しくは部分中和塩が(メタ)アクリル酸又は(メタ)アクリル酸エステルである、請求項5に記載の抑制剤。

【請求項7】

前記N-オキシル化合物が4-ヒドロキシTEMPOである、請求項6に記載の抑制剤

。

【請求項 8】

前記マンガンイオンが + 2 の原子価を有する、請求項 7 に記載の抑制剤。

【請求項 9】

酸素の存在下で重合に対して安定化されたモノエチレン系不飽和カルボン酸、そのエステル又は中和塩若しくは部分中和塩の水溶液であって、該水溶液は、( a ) モノエチレン系不飽和カルボン酸、そのエステル又は中和塩若しくは部分中和塩と、( b ) 水と、( c ) ( i ) 少なくとも 50 p p m の N - オキシル化合物及び ( ii ) マンガンイオンを含む抑制剤とを含み、ここで、該 N - オキシル化合物及びマンガンイオンは、該モノエチレン系不飽和カルボン酸、その無水物、エステル又は塩を基にして 50 : 1 から 100 : 1 未満の N - オキシル化合物対マンガンイオン重量比で存在する、前記水溶液。

【請求項 10】

前記 N - オキシル化合物が 4 - ヒドロキシ TEMPO である、請求項 9 に記載の水溶液

。